



平成26年12月18日

烏帽子初公開！ 第16回キャンパス発掘成果展

岡山大学埋蔵文化財調査研究センターは、平成27年1月7～12日、第16回キャンパス発掘成果展「鹿田荘の人と時代」を創立五十周年記念館で開催します。

鹿田キャンパスにひろがる鹿田遺跡で出土した墓を取り上げ、平安時代と鎌倉時代にこの地に生きた人物像に迫ります。

本成果展では、保存処理が完了した烏帽子（2014年7月出土）を初公開します。

岡山大学埋蔵文化財調査研究センターでは、第16回となるキャンパス発掘成果展を平成27年1月7日～12日の期間に、岡山大学創立五十周年記念館で開催します。

「鹿田荘の人と時代」と題し、岡山大学鹿田キャンパス構内にひろがる鹿田遺跡の発掘調査成果から、平安時代～鎌倉時代の成果を取り上げた展示企画です。

鹿田荘（しかたのしょう）は藤原摂関家の殿下渡領※（でんかわたりりょう）として著名な四大荘園のひとつで、鹿田遺跡はその比定地です。本成果展では、実際の墓や模型により、人の姿が直接イメージできる展示を行います。そのほかに屋敷の様子や食器などの違いを通して平安時代と鎌倉時代、それぞれの人と時代に迫ります。

なかでも注目は、2014年7月の調査で出土した烏帽子の保存処理が完了し、今回の展示で初公開することです。烏帽子をかぶった状態で埋葬された出土例は極めて珍しいものです。

また、2013年出土の絵馬2点（8世紀後半）のレプリカも完成し、同会場にて初公開します。是非ご覧ください。

関連企画として、1月12日には3名の方を講師として講演会を開催します。

内容の詳細はチラシをご確認ください。

※殿下渡領とは、藤原家の氏長者に代々受け継がれる荘園

<問い合わせ先>

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター

助教 岩崎 志保

（電話番号）086-251-7290

（FAX番号）086-251-7290